

事業内容

介護サービスの質の確保と充実

- 事業者向け各種研修会の開催
- 介護従事者キャリアアップ研修等の開催

介護サービスの情報の収集と提供

- ホームページによる市民・事業者への情報提供

介護サービスの事業者相互の連携

- 鎌倉ケアマネ連絡会の開催・運営支援
- 各種介護事業者連絡会の運営支援

*上記事業は一部市受託事業

市受託事業

- 市内介護保険施設等への介護相談員派遣
- 高齢者生活支援サポート事業の運営
- 介護保険要介護認定訪問調査

その他の事業

- かまくら食支援研究会
- ターミナルケアを考える会 in 鎌倉
- 介護支援専門員専門研修・更新研修
(神奈川県指定事業)

*事業内容は年度により変更することがあります

当法人の詳しい情報はこちらのQRからご覧ください。



会員募集のご案内

当機構では、趣旨に賛同し、ともに活動していただける会員を募集しています。

市民の声が反映された、利用しやすい制度となるように地域とつながり、鎌倉の未来を一緒に支えませんか。



会員種別	年会費	内容
正会員 (個人)	1口以上 5,000円	・総会の議決権を持ちます。 ・運営に参加し、一緒に活動を担っていただきます。
正会員 (団体)	2口以上 10,000円～	
賛助会員 (個人)	1口以上 2,000円	・財政的にサポートしていただきます。
賛助会員 (団体)	2口以上 10,000円～	・活動への参加もできます。

設立時から市民・事業者・市の協働で取り組む

2000年4月に鎌倉市を保険者として介護保険制度が始まるにあたり、私たちは、市民の声が反映され、使いやすく質の高いサービスが提供される仕組みが必要だと考えました。

そこで、鎌倉市、市民、介護サービス提供事業者の三者が協働して事業に取り組む機関として、1999年5月に「かまくら地域介護支援機構」を設立しました。

2002年9月には特定非営利活動法人(NPO法人)として法人格を取得し、現在に至っています。

特定非営利活動法人 **かまくら地域介護支援機構**

電話：0467-46-0788 (平日10:00～17:00)

Web：<https://kamashien.com/>

鎌倉で支え合う未来へ

鎌倉市・市民・事業者が協働してつくる 介護支援ネットワーク

特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構

事業者を対象とした事業

各種研修会の開催



当機構は、事業者の質の向上のため、介護従事者のキャリアアップ研修、介護支援専門員更新研修等の様々な研修の開催や開催の支援を行っています。

市民につながる事業者情報発信支援

鎌倉介護支援機構



鎌倉市は、高齢者の生活を支えるために、様々な取り組みを行っています。

Webを通じて、市民の皆様と事業所をつなぐ情報発信を行っています。鎌倉市の受託事業であるケアマネジャー空き情報は毎月定期更新しており、会員事業所には、いつでも編集できる事業所専用のホームページを提供しています。各事業所の最新情報やトピックスを、市民の皆様タイムリーにお届けできるほか、災害時にも情報発信ができる仕様としているため、有事の際にもご活用いただけます。

市民を対象とした事業

高齢者生活支援サポートセンター



サービスを受けるのも市民(利用者)、サービスを提供するのも市民(サポーター)という「地域の助け合い」、「共助」、「互助」により支えられている活動です。『月1回の草取り』『掃除や片付け』『外出の同行』『話相手』など、小さなお手伝いをサポーターが行うことで、利用者の喜びやサポーター自身のやりがい生きがいにつながります。※鎌倉市の受託事業です

鎌倉市 暮らしと介護の情報発信



当機構では、介護保険制度が始まった当初から、鎌倉市民の皆様に向けて介護・医療に関する情報発信(制度の基本的な考え方や介護保険サービスの活用方法、市内の社会資源に関する情報など)に取り組んでいます。これまで様々な刊行物等を通じてお伝えしてきました。現在はWebサイトを中心に、介護や医療について「知りたい」「相談したい」と思ったときに役立つ情報を、わかりやすく発信しています。

地域包括ケア『鎌倉型』の実現に向けて

少子高齢化が現実のものとなり、超高齢社会が進行する中、介護・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。

介護人材の不足、医療ニーズの複雑化、単身高齢者や認知症高齢者の増加等、従来の制度や専門職だけでは支えきれない課題が地域で顕在化しています。

こうした状況の中で求められているのは、医療・介護・福祉・行政、そして市民が分野を超えて連携し、「その人の暮らし」を中心に支える地域包括ケアの仕組みです。

鎌倉市は、歴史と文化、そして人と人とのつながりが息づくまちです。

私たちはこの鎌倉の地域性を活かし、画一的なモデルではなく、地域の実情に根ざした『鎌倉型』地域包括ケアの実現を目指しています。

『鎌倉型』とは、行政が制度面を支え、介護・医療の専門職が専門性を発揮し、地域の事業所や市民が主体的に関わり合うことで、支える側・支えられる側という関係を超えた「協働」の地域づくりを進めることです。

かまくら地域介護支援機構は、鎌倉市と協働しながら、市民の声を現場につなぎ、専門職や事業所同士を結び、地域全体で支え合う仕組みづくりの「ハブ」として活動してきました。個別に介護を要する高齢者を「点」で支える支援と地域や様々な社会資源を「面」というネットワークで支える支援で地域包括ケア『鎌倉型』のシステム作りに取り組んでいます。

人生の最期まで、住み慣れた鎌倉で、自分らしく安心して暮らし続けられるように。

私たちはこれからも、多様な立場の人々と手を取り合い、地域包括ケア『鎌倉型』の実現に向けて歩み続けます。